

出産に関する支援

※本調査は平成28年6月1日現在の状況です。

市町村	7 出産祝い金・祝品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
福島市	ない						ない		ない	ない		ある	3.11後の放射能不安への対応として開始し、現在は育児不安安全館として実施 ・親と子のいきいき健康講座 ・心理士による座談会	ある	相談会や親子遊びの教室
会津若松市	ない						ない		ある	ある	1か月以内を目安に再度家庭訪問を行い、支援している。	ない		ある	乳幼児健康診査等で相談があった場合は、地区担当保健師による家庭訪問等による個別支援や健診事後相談により支援につなげている。
郡山市	ある	いずれか1つ (1)よだれかけ&タオルハンカチセット (2)哺乳瓶除菌セット (3)マグセット (4)体温計 (5)絵本セット	同左	同左	同左	(1)本市で母子健康手帳の出生届出済証明を受けた新生児 (2)本市以外で母子健康手帳の出生届出済証明を受け、本市に住民登録がある新生児（出生届出時の住所も本市にあった場合に限る。）	ある	産後6か月以内の母子を対象に、ショートステイ事業及びデイケア事業を市内の医療機関に委託して実施している。	ある	ある	乳児家庭全戸訪問や、助産師訪問、育児教室等での状況確認を行うほか、産後ケア等市の事業の紹介等を実施している。	ない		ある	幼児健診の事後として、発達障がいと思われる児童と保護者へのフォロー教室の開催や精神科医師や臨床心理士等の相談の紹介を行う。また、電話や来所相談や訪問等で継続的に支援している。
いわき市	ある	出産支援金50,000円 (出産を奨励し、及び祝福するとともに、出産に係る経済的負担を軽減し、市民が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に寄与することを目的)	出産支援金65,000円 (出産を奨励し、及び祝福するとともに、出産に係る経済的負担を軽減し、市民が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に寄与することを目的)	出産支援金80,000円 (出産を奨励し、及び祝福するとともに、出産に係る経済的負担を軽減し、市民が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に寄与することを目的)		・出産支援金支給事業 対象者：平成26年4月1日以降の出生により本市の住民基本台帳に記載された出生届 受給資格者：出生届が出生した日現在において、住民基本台帳に1年以上以上記録されている当該出生児の父又は母	ある	・保健指導を必要とする母子を出産後助産所に入所させて、母子の保護・保健指導等のサービスを提供する。 ・市費用負担：30,000円/日 ・利用期間は7日間以内（但し、母子の状況により14日まで延長することができる）	ある	ある	・要継続支援ケースとして、養育支援訪問事業等にてフォローする。	ない		ある	・発達障がい児ペアレントトレーニング事業 ⇒発達障害または疑いのある児を養育する保護者が、具体的な対応方法を身につけ、親子関係の改善を図る。

市町村	7 出産祝い金・祝い品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
白河市	ない						ない		ある	ある	子育て広場参加を促し、参加希望のない方は、電話相談や訪問で支援。	ある	親子遊びと親ミーティングとして実施。	ある	相談会や親子遊びの教室を通して療育相談、発達支援を実施。
須賀川市	ない						検討中	平成29年度から実施予定(医療機関及び助産所への委託)	ある	ある	養育支援訪問として実施、必要時、児童福祉担当のこども課主催の要保護児童対策地域連絡協議会の開催	ない		ある	1 親子遊びの教室(おひさま学級)年11回(月1回)保健師、保育士、心理相談員、言語聴覚士等のスタッフ 2 保護者支援教室(なかよし教室)年5回:就学に関する講話、言語聴覚士・心理相談員等による講話 3 心理相談員による個別相談
喜多方市	ない						ない		ない	ない		ない		ある	個別家庭訪問など
相馬市	ある	5万円	8万円	10万円	10万円	・養育者は申請時において市の住民基本台帳に引き続き1年以上記録されていること。 ・申請期限はお子さんの出生日から3ヶ月以内	ない		ない			ない		ある	相談会や発達支援教室
二本松市	ある	1万円	1万円	1万円	1万円	父または母が市内在住1年以上	ない		ない			ある	子育てチャットの会 育児不安を抱える親のグループミーティング事業	ある	安達地方自立支援協議会「すくすくひろば」2市1村共同開催
田村市	ある	5万円	5万円	5万円	5万円	出生児の誕生1年以前から田村市に住所を有し、出生児と同居していること。	ない		ある	ある	訪問、乳幼児健診時等で相談支援	ない		ある	発達支援教室、療育相談等
南相馬市	ある	○	○	○	○	平成27年4月1日以降に出生し、出生の日から市内に住所を有する児童を養育する父又は母に誕生祝い品(紙おむつ等と引換可能な給付券2万円分)を交付。	ない		ある	ない	乳児家庭全戸訪問(生後2か月まで)時に実施。リスクのある産婦の場合、係内ケース会議にて支援について検討する。 4か月健診時の子育てアンケートでも状況把握をしている。	ない		ある	・ペアレントプログラム講座 ・親子遊び講座
伊達市	ある			50万円	50万円	伊達市在住者等	検討中	29年度実施に向け検討中	検討中	ない		ない		ある	1歳6か月健診で観察が必要となった子を対象に遊びの教室開催
本宮市	ない						検討中		ない	ない		ある	育児不安・虐待予防のためのグループミーティングを月1回実施	ある	・1歳6か月児、3歳児健診の事後として臨床心理士、保健師の相談(予約制)を月1回実施 ・乳幼児から高校生相当までの親子の心理相談(予約制)を月1回実施
桑折町	ない						検討中	29年度実施に向け検討中	ある	ない		ない		ある	個別支援関係機関との連携等
国見町	ない						ない		ある	ある	担当部署内での情報共有 電話での状況確認	ない		ない	

市町村	7 出産祝い金・祝い品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
川俣町	ある	5万円	5万円	5万円	5万円		ない		ない	ない		ある	年6回、母親同士のお話し会	ない	
大玉村	ある			30万円		・第三子以降 ・出産前引き続き三か月以上本村に住所を有していること ・現に生存する一人以上の兄弟がおり、同居していること	ない		ない	ない		ない		ある	・障がい等育てにくさを感じる親とその子どもを対象にすくすく広場（あだち地方自立支援協議会子ども支援部会主催）への参加を呼び掛けている
鏡石町	ない						ない		ある	ある	電話や訪問等で育児状況を確認	ない		ある	健診後のフォローアップ相談の実施
天栄村	ある		10万円	20万円	第四子30万円 第五子以降50万円	・出生児が誕生後引き続き一年以上本村に住所を有していること。 ・現に生存する一人以上の兄弟がおり、同居していること。	検討中	平成29年度から実施予定	ある	ある	訪問や電話で状況を確認する	ない		ある	乳幼児健診の間診票にスクリーニング項目を入れている。また、子育て広場や育児教室の参加を促し、児の観察及び保護者の支援をしている。
下郷町	ある			10万円	第四子20万円 第五子以降30万円	・出生児・・・生後3ヶ月以上本町に住所を有している ・両親・・・出生前に4年以上本町に住所を有している	ない		ある	ある	・家庭訪問等	ない		ある	・発達障がい相談会 ・家庭訪問等
檜枝岐村	ある	5万円	5万円	50万円	50万円	出産時に、父母住民であること。引き続き、永住見込みであること。	検討中	平成29年度より実施予定 ・産後宿泊ケア事業 ・産後日帰りケア事業	ある	ある	保健師による継続支援	ない		ある	発達観察相談会
只見町	ある	10万円	20万円	30万円	30万円	町内に、出産前に一定期間居住し、出産後も一定期間居住することが条件（転勤等で異動がある場合は該当しない）	ない		ある	ある	保健師の訪問、電話相談を行う。関係機関と情報交換し、状況によってはグループミーティングを実施する。3、4ヶ月健診時に再フォロー。	ある	「わいわいサロン」を毎週1回開催。育児中の母親等の居場所を提供している。保健師による相談も実施。	ある	発達相談会を年6回開催
南会津町	ある	10万円地域商品券	10万円地域商品券	10万円地域商品券	10万円地域商品券	①1年以上居住 ②税、水道等滞納がない ③3年間支給	検討中		ある	ある	保健師による訪問、電話相談、専門機関連絡	ない		ある	おひさま教室（専門家による相談支援）
北塩原村	ある	10万円	20万円	30万円	30万円	本村に住民登録された子を出産した者又はその配偶者で、出産の日の1年以上前から引き続き村内に住所を有する者に対して支給する。	ない		ある	ない		ない		ある	他市町村と合同で発達に関する相談会を実施 対象者：未就学児とその保護者 医師、言語聴覚士、心理士参加

市町村	7 出産祝い金・祝い品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
西会津町	ある	(出生時)祝い金10万円 町商品券10万円相当	同左	(出生時)祝い金10万円 町商品券10万円相当 (2歳誕生日)祝い金10万円 (小学校入学時)祝い金20万円	同左	誕生日まで引き続き1年以上町に住所を有すること。	ない	H29年度より実施予定	ある	ある	電話や訪問、来所等でフォローしている	ある	保育士が行っている週1回の子育てサークルによる支援 保健師も隔月で来場し育児相談を行っている	ある	健診や児童相談所の巡回相談会、保育所等からの相談により関係機関と連携して支援している
磐梯町	ある	20万円	30万円	50万円	50万円	保護者が、対象となる子の出産の日まで1年以上本町に住所を有して居住の実態があり、出産を行った者およびその配偶者と支給対象児が引き続き3か月以上本町に住所を有して居住の実態があること。 保護者が、町に支給申請をした日の前年度以前の町税等の滞納がないこと。	検討中	宿泊ケア・日帰りケアの実施について検討中 (平成29年度より)	ある	ない	個別対応	ない		ない	個別対応
猪苗代町	ある	3万円	5万円	7万円	10万円 第五子以降 20万円	5か月以上在住	ない		ある	ない	乳児家庭全戸訪問事業において産後2か月ごろに実施している。高得点の場合には保健師の訪問等によりフォロー。	ない		ある	保健師による訪問や町の親子あそびの教室などを通し支援している。
会津坂下町	ない						ない		ある	ある	赤ちゃん訪問乳幼児健診でフォローする	ない		ある	2ヶ月に1回発達相談を実施
湯川村	ある	5万円	5万円	5万円	5万円	村内に住所を有していること	ない		ある	ある	医療機関との連携	検討中	親同士が交流できる場の設立	検討中	遊びを通して親子がふれあう場の提供
柳津町	ある	商品券7万円相当	商品券7万円相当	商品券7万円相当	商品券7万円相当	父又は母が新生児の誕生日において、1年以上前から当町に住所を有し、かつ新生児の住所を当町に有すること 対象となる子の父母(養父母)に町税等の滞納がないこと	ない		ない			ない		ある	乳児検診時での早期発見、心理士による相談。保育所との連携。
三島町	ある	30万円	同左	同左	同左	定住が見込めるもの	ない		ない			ある	ワンダークラブ →就学前の幼児、児童を持つ親に対して、月2回程度集まりを開き、保健師や育児専門の講師等を招き情報交換や、アドバイス等を行っている。	ある	母子保健連絡会 →支援が必要な幼児・児童・生徒等の情報を共有し、適切な支援の方法について協議を行い、町保健師等を通して支援を行っている。
金山町	ない						ない		ない			ない		ない	
昭和村	ある	10万円	10万円	10万円	10万円	本村の住民で定住の意思のあるもの	ない		ある	ある	保健師による訪問	ある	つききクラブ(週1回)	ある	保健師による訪問、相談

市町村	7 出産祝い金・祝い品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
会津美里町	ない						ない	平成30年度に向けて検討中	ある	ある	乳児全戸訪問事業において実施（産後2か月前後）病院から連絡があれば、早期家庭訪問等において、継続支援をする体制になっている。	ない		ある	子育て発達支援教室他子育て支援サービスや保育所など関係機関が連携し、継続的に支援をしている。
西郷村	ない						ない		ある	ある	赤ちゃん訪問事業の家庭訪問の際に行っている。	ある	「西郷村つどいの広場」 ・親子で一緒に遊べるスペースがあり、仲間づくりや育児相談ができる広場 ・対象は4歳未満のお子さんをもつ親と子ども ・午前9時30分～午後3時30分 月～金（土日・祝祭日・年末年始・お盆は休み）	ある	西白河地区乳幼児育成指導及び発達相談事業（「すくすく教室」「発達クリニック」）実施要領による。
泉崎村	ある			商品券10万円	・第四子：商品券30万円 ・第五子以降：商品券50万円	・商品券は、村内でのみ利用可で、期限は1年間。 ・出生児誕生後、引き続き3カ月以上住所を有すること。 ・現に生存する2人以上の兄弟が居て同居していること。	ない		ある	ある	保健師による訪問及び乳幼児健診等でのフォロー	ない		ある	西白河地区乳幼児育成指導及び発達相談事業（「すくすく教室」「発達クリニック」）
中島村	ある	祝い品5千円相当	祝い品5千円相当	祝い品5千円相当	祝い品5千円相当	記念樹	ない		ない			ない		ない	
矢吹町	ある	検討中	5万円	5万円	5万円	(1)町内に出産の前日に居住し、出産の日後6ヶ月以上居住している人で、引き続き町内に居住する見込みのある者。 (2)平成23年4月1日以降に第二子以上の子を出産し、対象児を含む2人以上の子（18歳未満に限る）を養育している者。 (3)申請者の世帯で町税等を滞納していないこと。	ない		ある	ない	母子保健推進員による電話・家庭訪問を実施。	ある	遊びの広場	ある	すくすく教室（4町村合同）
棚倉町	ない						ない		ある	ない	・制度としてはないが、病院より支援依頼があった際に訪問対応・乳児（3か月未満）産婦へ全戸訪問時EPDSを実施し、高得点のものについては、乳児健診や訪問等でフォロー	ない		ある	東白川地域健やか発達支援事業 ①にこにこ教室 ②乳幼児発達観察相談会
矢祭町	ある	10万円	10万円	50万円（11歳の誕生日まで毎年5万円）計100万円	100万円（11歳の誕生日まで毎年5万円）計150万円	第5子以降150万円（11歳の誕生日まで毎年5万円）計200万円（第3子以降育児支援名目あり）	ない		ある	ある	家庭訪問	ある	リフレッシュママ	ある	東白川地域健やか発達支援事業 ①にこにこ教室 ②乳幼児発達観察相談会 母子相談会

市町村	7 出産祝い金・祝い品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
埴町	ない						ない		ある	ある	訪問等の実施	ある	子育てサロン 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を設け、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を実施	ある	乳幼児発達観察相談会等
鮫川村	ある	出生した子一人につき5万円の赤ちゃん商品券を給付する。				出産のために一時的に住民登録をしたもの、生活保護を受けている世帯・税等の滞納をしている世帯に属する者を除く。	ない		ある	ない		ない		ある	発達支援とグループミーティングの教室と心理士、言語聴覚士による相談会を東白川4町村で共催。
石川町	ある	記念樹(サクラの苗木を贈呈) 5万円	記念樹(サクラの苗木を贈呈) 5万円	記念樹(サクラの苗木を贈呈) 5万円	記念樹(サクラの苗木を贈呈) 10万円(第4子) 20万円(第5子以降)	(記念樹) 出生記念樹は、出生時及び贈呈時に本町に在住の方(祝金) 1年以上町内在住又は出生後1年以上在住見込の世帯	検討中	29年度から福島県助産師会に委託し実施	ある	ある	家庭訪問を実施し継続支援している	ない		ある	乳幼児健診事後指導として、臨床心理士の個別相談会を実施
玉川村	ある	10万円	20万円	50万円	50万円	・誕生前引き続き1年以上村内に住所を有し、現に居住していること ・誕生後、引き続き3ヶ月以上村内に住所を有していること ・村税等の滞納がないこと	ない		ある	ある	訪問や電話及び随時相談受付	ない		ある	訪問や電話及び随時相談受付
平田村	ある	5万円	5万円	5万円	5万円	本村に住所を有するもので、3か月以上養育しているもの。	ある	全産婦助産師訪問指導事業	ない			ない		ある	育児相談(随時) 親子ふれあい教室 月1回 幼児健康診査心理士個別相談
浅川町	ある	5万円	5万円	10万円	第4子20万円。第5子以降30万円。	町内に1年以上住所があること。同一の夫婦の間に出生した子であること。現に同居する兄・姉がいること(第3子以降の場合)	ない		ない			ない		ある	・健康診査での個別相談対応の充実 ・児童を取り巻く関係機関との連携
古殿町	ある	5万円	10万円	30万円	50万円	(1) 出生前に、母親が本町に1年以上住所を有している。 (2) 誕生後引き続き3ヶ月以上本町に住所を有している。 (3) 現に生存する兄妹と同居している。(2子目以降)	ない		ある	ある	電話・再訪問等	ない		ある	相談・かかわり方の相談、助言
三春町	ない						検討中	日帰りケア・宿泊ケア	ある	ある	保健師訪問	ない		ある	家庭訪問等による個別支援 乳幼児育成支援教室

市町村	7 出産祝い金・祝い品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
小野町	ある	・10万円 ・地元杉材町有林杉間伐材による幼児用椅子贈呈 1万8百円相当	・15万円 ・地元杉材町有林杉間伐材による幼児用椅子贈呈 1万8百円相当	・20万円 ・地元杉材町有林杉間伐材による幼児用椅子贈呈 1万8百円相当	・20万円 ・地元杉材町有林杉間伐材による幼児用椅子贈呈 1万8百円相当	出生日の1年前から引き続き小野町の住民基本台帳に記載され、かつ町内に居住し出生児を養育している方 ・出生時小野町の住民が対象	検討中	平成29年度からの実施に向け準備中、実施内容：家庭で育児支援を受ける環境に乏しい産婦に対し、宿泊ケア・日帰りケア・訪問ケアを実施	ない			ある	子育てサポーターや子育てボランティア参画による親子交流事業、	ある	①相談会（精神科医師、臨床心理士 保健師等） ②発達支援教室
広野町	ある	5万円	10万円	30万円	30万円 ※第五子以降50万円	・出生時、両親のいずれかが当町へ半年以上の期間住民票を有し、かつ出生児を住民基本台帳に記載する。 ※第四子以降については、小学校・中学校入学時にも祝い金あり	ない		ない	ない		ない		ある	家庭訪問
檜葉町	ある	無	無	30万円	30万円	第3子以降に支給。町内に住民票がある保護者に支給され、今後檜葉町に居住する方が対象。	ない		ない	ない		ある	またためサークルの実施育児にかかる不安やストレスを軽減し、子どもの健全な発達を促す養育環境を整える目的で実施する。	ある	・乳幼児健康相談会の実施 ・町保健師による訪問 ・町認定こども園との連携
富岡町	ある	5万円	5万円	20万円	20万円	日本国籍を有する者で新生児を出産した日現在に本町に1年以上住所を有している分娩者若しくは扶養者（本町に引き続き1年以上住所を有していない者については、引き続き住所を有して1年を経過した後）	ない		ある	ある	訪問	ない		ある	訪問
川内村	ある	10万円	20万円	30万円	50万円	・第一子から名前入りの木製椅子を贈呈 ・出生時各1/2の額、小学校入学時に1/2の額を贈呈。現金：商品券＝7：3	ない		ない			ない		ない	
大熊町	ある	5万円	5万円	20万円	20万円		検討中	来年度以降実施を検討	ない			ない		ない	
双葉町	ある	無	15万円	20万円	20万円	第二子以降出生時に10万円支給。残りの5万円ないし10万円は小学校入学時に支給。町民税等納め残しがないことが条件。	ない		ない			ない		ない	
浪江町	ある	無	無	20万円	20万円		ない		ある	ある	訪問・電話にて支援	ある	育児不安に限定していないが、就学前の親子を対象に月1回の教室を県内3か所所実施	ある	県主催の遊びの教室へ参加実施
葛尾村	ある	無	14万円	21万円	35万円	第2子以降出生時に半額支給。残りを小学校入学時に支給。	ない		ある	ある	保健師の定期的な訪問により対応	ある	にこにこ広場の相談会 定期的な保健師の訪問	ある	にこにこ広場の相談会 定期的な保健師の訪問
新地町	ある	3万円	3万円	3万円	3万円	引き続き1年以上本町に住所を有し当該出生児を養育している者	ない	町独自のものは無いが、平成28年度は福島県が実施している。	ある	ない	こんにちは赤ちゃん訪問事業と同時にやっている。9点以上の方へは、3か月児健診までの間に様子確認の連絡や訪問、3か月児健診での様子確認を実施。	ない		ない	
飯舘村	ある					木のおもちゃの贈呈	ない		ない	ない		ない		ある	乳幼児健診後の相談会

市町村	7 出産祝い金・祝い品の贈呈						8 産後ケア事業の実施		9 エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)			10 育児不安の親のグループ活動		11 発達障がい等育てにくさを感じる親支援	
	制度の有無	第一子	第二子	第三子	第四子以降	贈呈条件・制限等	制度の有無	制度の内容	導入の有無	産後1ヶ月でEPDS9点以上の方へのフォロー体制の有無	フォロー体制の内容	支援の有無	支援の内容	早期支援体制の有無	支援の内容
ある	43						3		38			17		49	
ない	16						44		20			41		9	
検討中	0						12		1			1		1	